

ーサービス工学シンポジウム「サービス工学研究会の新生」のご案内ー

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

平素は当研究会の活動に関し格別のご高配を賜り、この場をお借りし厚くお礼申し上げます。

当研究会は、2001年12月5日の設立準備会の開催からいよいよ15年の節目を迎えます。

当初、「『サービス』は『工学』の対象となり得るのか」という、当分野の学際的意義に関する議論から始まり、サービスの定義、モデル化、設計ツール試作、技法の提案、実際事例研究、手法整理へと、手探りながらもその段階を着実に進めて参りました。本研究会設立当時の背景として、地球環境問題に対する循環型社会形成推進、産業構造改革としての製造業のサービス化、第三次産業の効率化の課題認識が存在し、これらの問題を解決する一つのアプローチとして工学的手法を用いたサービスの設計／開発の在り方を指向する産学連携研究会としてサービス工学研究会は発足致しました。

その後、『サービス工学』は広く認知されるに至り、多くの方々がこの分野にご興味をお持ちになり、また、産学官のそれぞれの立場で、また、互いの連携による多様な取り組みがされる時代となりました。当研究会の設立から15年を数えた今日、以前として続く不況からの脱却、国際競争力の強化など前述の課題解決の必要性は一層の現実味、深刻さを帯び、今、まさに戦略的なサービス開発が求められる様相を呈しています。

この度、当研究会はこれまでの運営を完了し、その後、新たな運営形態による組織として再起動を行うことと致しました。そしてそのプロセスの一環として、本シンポジウムでは、過去15年間に渡る当研究会の活動を集約し、事例研究を通じた手法のご紹介と今後のサービスビジネスの成長のため何をすべきか、どう進めるべきかについて議論を深めていただく機会を設計致しました。

本シンポジウムでは、当研究会にご参画頂いた企業会員の方々の事例を通じて、「サービス開発のための取り組み」をご紹介させていただきます。また、産学それぞれの立場においてご活躍をされている方々をパネリストとしてお招きし、現時点の問題意識、それを踏まえた「新しいサービス工学研究会に期待すること」について、ご議論頂きます。

ご多忙中とは存じますが、是非ご足労いただき、今後の皆様のご活動の一助として頂ければ幸いです。

ご参加を心よりお待ちしております。

敬具

■サービス工学シンポジウム「サービス工学研究会の新生」

■開催日時：2016年12月20日（火）14:00-17:00（13:30 受付開始）

■開催場所：首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス

(http://www.tmu.ac.jp/university/campus_guide/access.html)

■主催：サービス工学研究会 (<http://www.service-eng.org/index.html>)

■プログラム

14:00-14:05

開会の辞

下村芳樹教授（首都大学東京）

14:05-14:25

研究会の歴史・開発ツール・ワークショップ活動の紹介

木見田康治助教（首都大学東京）

14:25-14:45

事例研究① ICTプラットフォームサービスの品質改善

清水美欧氏（日本電気株式会社）

14:45-15:05

事例研究② 開発プロセスへのサービス設計導入の歩み

中根林太郎氏（東芝テック株式会社）

15:05-15:25

事例研究③ 顧客とのサービス価値の協創と方法論 NEXPERIENCE

長岡晴子氏（株式会社日立製作所）

15:25-15:35

休憩

15:35-16:45

パネルディスカッション

<モデレータ>

- ・ 下村芳樹教授（首都大学東京）

<パネリスト>

- ・ 戸谷圭子教授（明治大学）
- ・ 細野繁氏（日本電気株式会社）
- ・ 長岡晴子氏（株式会社日立製作所）
- ・ 中根林太郎氏（東芝テック株式会社）
- ・ 横川省三氏（一般社団法人日本ビジネスプロセス・マネジメント協会）

16:45-16:50

告知

16:50-17:00

閉会の辞

下村芳樹教授（首都大学東京）

■参加費：無料

■定員：80名（定員に達し次第、締め切らせていただきます。）

■参加申込：

参加ご希望の方は、必要事項をご入力の上、下記宛にメールにてお申込ください。

（締め切り：12月10日（月））。

なお、定員になり次第、締め切らせていただくことをご了承ください。

■申込必要事項

- お名前（ふりがな）
- 御勤務先・ご所属
- 御連絡先メールアドレス
- 当イベントにご関心を持たれた理由

■申し込み・問い合わせ先：

サービス工学研究会セミナー事務局

seforum-event-ml@ml.sd.tmu.ac.jp